
ニュースレター・JASESS No.90

社会・経済システム学会 2013.12.18

謹啓 会員諸氏におかれましては、ますますご清栄のことと存じ上げます。

さて、本学会の第32回大会が、10月26日(土)、27日(日)の両日、京都産業大学において開催されました。大会報告ならびに次回第33回大会の開催要領等についてお知らせいたします。

■第32回大会は好評裡に終了しました

社会・経済システム学会第31回大会は、「社会・経済システムのリストラクチャリング」と題する大会テーマのもと、10月26日(土)、27日(日)の両日、京都産業大学・むすびわざ館で開催され、企画分科会をはじめ各分科会の報告・討論も好評裡に終了しました。1日目午後には、「グローバル時代の社会システム」と題して、徳安彰新会長の講演が行われました。

学会大会の開催に尽力された京都産業大学の大室悦賀大会実行委員長をはじめとする大会実行委員の皆様の協力に深く感謝いたします。

■第33回大会は、京都大学で開催することになりました

大会テーマ：「社会・経済システムとデザイン」

開催日：2014年10月25日(土)・26日(日)

場所：京都大学（京都市左京区）

大会実行委員長：喜多一

連絡先：〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学学術情報メディアセンター
喜多一研究室内 社会・経済システム学会大会実行委員会

E-mail: kita@media.kyoto-u.ac.jp

【大会テーマ趣旨説明文】

科学技術の進展に伴い人類の活動が拡大する一方で、地球規模の環境変動、経済格差や失業の拡大、高齢化や少子化、金融システムの不安定化などの社会・経済システムはさまざまな課題に直面しており、国民国家などを含めてその再設計が必要となっている。社会科学の領域では古くから組織や社会を人工物として捉える考え方がある。そこでは我々の生活世界がどのように構成的にできあがっているかを問い、組織や社会の情報処理やコミュニケーションプロセスに着目し、その視点からどのように組織や社会を人工物としてデザインしていくかという問いかけがなされてきた。

他方で、これまでインダストリアルデザイン、グラフィックデザインなど商業的な領域での活動が主流であったデザインの領域も、組織やコミュニティ、社会的活動などがデザインの対象となっており、ユニバーサルデザインやインクルーシブデザイン、オープンデザインなどデザインについての考え方も変容してきている。さらにはこれらの流れを受けて、世界各地で、デザインスクールなどの教育プログラムが展開されてきており、そこでは途上国などのフィールドでの問題解決も指向されている。

このような状況にあつて、社会・経済システムという領域とデザインという領域が交差することでこれからの社会や経済について考えて行くことが期待されている。本学会は過去数年間に、「社会・経済システムのリストラクチャリング」、「復興と再生」、「イノベーションと社会・経済システム」、「グローバル化における社会・経済システムの構想」、「持続可能な社会・経済システムと地域総合デザイン」を大会テーマとして取り上げ、活発な議論を積み上げてきた。それらを踏まえ、デザインという考え方や諸活動と社会・経済システムとの関係を深めることは本学会の今後の活動の展開において重要な鍵となると考える。

本大会では、企業システム、行政、地域、NPOを含む社会・経済システムについて、多様な観点からの理論的、実践的な研究発表と盛んな議論が行われることを期待する。

1. 報告をご希望の方は、所属機関・氏名・報告論題・報告要旨（400字～600字程度）を **2014年5月31日必着** で事務局（首都大学東京：事務局長 高尾義明）まで必ずメールにてお送りください。
送り先：office@jass.jp
ご報告の採否は2013年7月頃にご通知できると思います。
2. ご報告頂くことになった際には、**2014年9月15日（必着）** でA4版×**2枚ないし4枚（偶数枚のみ）** の報告要旨原稿をお願いすることになりますので、あらかじめご了承ください。

■昨年度会計報告および今年度予算

2013年10月26日（土）の総会で、昨年度の会計決算について廣田・古村両会計監事の監査報告書とともに事務局から報告があり承認されました。また、今年度予算案についても事務局より資料に基づき報告があり総会で承認されました。

2012年度収支決算報告書（2012年4月1日～2013年3月31日）

1. 収支決算書（2012年4月1日～2013年3月31日）

支 出		収 入	
通信費	132,618	会費	1,612,000
消耗品費	34,879	一般会員	(1,484,000)
アルバイト謝金	250,800	学生会員	(128,000)
大会準備費	67,055	寄付	7,000
大会運営費	486,760	利子	404
理事会費	39,140	ゆうちょ銀行(普通)	(286)
機関誌編集委員会費	604,800	みずほ銀行(普通)	(118)
(財)日本学術協力財団分担金	50,000		
関東部会	0		
関西部会	0	機関誌バックナンバー販売	33,705
IFSR分担金	30,837		
当期支出小計	1,696,889	当期収入小計	1,653,109
次期繰越金	4,862,509	前期繰越金	4,906,289
合計	6,559,398	合計	6,559,398

2. 貸借対照表（2013年3月31日現在）

借 方		貸 方	
現 金	0	次期繰越金	4,862,509
振替貯金	1,445,355		
郵便貯金(普通)	897,905		
郵便貯金(定額)	2,080,000		
銀行貯金(普通)	439,249		
合計	4,862,509	合計	4,862,509

2013年度収支予算案 (2013年4月1日～2014年3月31日)

支 出		収 入	
通信費	150,000	会費収入見込	1,612,000
消耗品費	35,000	一般会員	(1,484,000)
アルバイト謝金	200,000	学生会員	(128,000)
大会準備費	70,000	機関誌バックナンバー販売	30,000
大会運営費	500,000		
理事会費	50,000		
機関誌編集委員会費(第34号)	600,000		
(財)日本学術協力財団分担金	50,000		
関東部会	30,000		
関西部会	30,000		
当期支出小計	1,715,000	当期収入小計	1,642,000
予備費	4,789,509	前期繰越金	4,862,509
合計	6,504,509	合計	6,504,509

■新入会員紹介

次の方々の入会が10月26日(土)の総会において承認されました。

(敬称略)

	氏名	所属	専門分野	区分
1	タナカ アキヨ 田中 晃代	近畿大学	都市計画	一般
2	ウチダ サトシ 内田 聡	茨城大学人文学部	金融システム論	一般
3	サトウ ジョウジ 佐藤 成治	AlphaPoint Consulting	経営科学	一般
4	ババ ショウゴ 馬場 晶悟	福岡大学大学院	応用数学	学生
5	ヤマサキ ヨシヒロ 山崎 好裕	福岡大学	理論経済学 計量経済学 経済学史	一般
6	コバヤシ シゲト 小林 重人	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科	市場制度分析 進化経済学 複雑系	一般
7	ヤマダ ヒロアキ 山田 広明	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科	エージェントシミュレーション 複雑系	学生
8	フジサワ (カブラギ) リエ 藤澤 (鏑木) 理恵	首都大学東京 大学院社会科学研究科	経営学	学生
9	オギバヤシ シゲアキ 荻林 成章	千葉工業大学	マネジメント工学	一般
10	タカシマ コウセイ 高島 幸成	千葉工業大学大学院 社会システム科学研究科	マネジメント工学	学生
11	ミツ アンオ 三輪 篤生	内閣府	価値システム	一般

■会費納入のお願い

会員各位のご協力ももちまして、会費納入状況も良好でご同慶の至りです。今年度及び昨年度以前の会費が未納の会員におかれましては、専用払込票(ヤマトフィナンシャル払込用紙)にてご納入のほどよろしくお願いいたします。

■変更届のお願い

ニューズレター等配布物の返送が相次いでおります。送付先変更がございましたら速やかに下記メールアドレスまでお知らせくださいますようお願いいたします。

事務局(首都大学東京 大学院社会科学研究科 高尾義明研究室、E-mail: office@jasess.jp)

※学会ホームページに諸届け(変更、入会、退会)の様式がありますので、そちらもご覧ください。

<http://jasess.jp/info/admission.html>